北海道運輸局

# 「ひと・もの」協働輸送プロジェクト、出発進行！

「ひと・もの」協働輸送プロジェクトは、路線バスの空席スペースを活用し、地域における宅配貨物輸送等の物流サービスを効率化するシステムを構築することによって、バス事業者、物流事業者双方が抱える状況の改善、すなわち、旅客輸送サービス及び物流サービスの効率化や収支改善により、地域の公共交通サービスと物流サービスの維持・確保につなげることを期待しています。

士別市～士別市朝日間、名寄市～下川町間、名寄市～美深町間の道北地区は７月２２日から、足寄町～陸別町間の十勝地区では８月４日から、それぞれ１ヶ月間、実際に宅配貨物等を路線バスに乗せて実証実験を行いました。

一つのインフラである路線バスに旅客と貨物の同時輸送をおこなうことにより、ＣＯ２の排出量が減少し、さらに、物流事業者にとっては、航空貨物取扱地域の拡大等物流サービスの向上及び労働時間等の削減、バス事業者にとっては、貨物運賃収入増及び地域におけるバスインフラの重要性の増大という効果が生まれました。

貨客混載バスの有効活用が進めば、一部地域では物量の関係から、既存の物流ネットワークでは出来なかったサービスの提供が、地球に優しい形で行われる可能性が広がります。

保育園児と一緒に道北地区出発進行

中学生と一緒に出発進行！

本格運行に向けて関係者一同ガッチリ握手